

2021年 第8回

都市・まちづくり
コンクール

作品募集

エントリー



本年度課題

響

意味

- ①音が長く鳴りわたる ②広い範囲にわたって音が伝わる ③他に反応・変化を生じさせること。影響 ④評判が伝わる ⑤共鳴する ⑥関係を及ぼす

スケジュール

応募締切

2021.2.12(金)

提出締切

2021.2.22(月)

本審査

2021.3.12(金)

会場：総合資格学院 新宿校

※Zoomオンラインによる参加も選択できます。

表彰

最優秀賞 賞金 30万円
(1作品)優秀賞 賞金 10万円
(2作品)総合資格賞 賞金 10万円
(1作品)審査員賞 賞金 2万円
(10作品)

審査員・実行委員 ※順不同・敬称略

小林 英嗣
(北海道大学名誉教授/日本都市計画家協会会長)小林 正美
(明治大学教授/アルキメディア設計研究所主宰)江川 直樹
(関西大学教授/現代計画研究所顧問)角野 幸博
(関西学院大学教授)北川 啓介
(名古屋工業大学教授)柴田 久
(福岡大学教授)中島 直人
(東京大学准教授)中野 恒明
(芝浦工業大学名誉教授/アブル総合計画事務所主宰)有賀 隆
(早稲田大学教授)猪里 孝司
(大成建設(株)設計本部 設計企画部)岸 隆司
(総合資格学院学院長)

都市・まちづくりコンクールの課題提出にあたっては、この「響」の意味を幅広く捉え、形態や配置、仕組みなどを包含する都市デザイン、建築、ランドスケープデザインの提案を募集します。

計画の範囲と規模は自由ですが、建築物および周辺環境計画を含めた提案を原則とします。

あなたの提案がどのような人たちに響くか、あるいはどのような空間や場所に、エリアに、まちに、もっと大きな何かに…響き渡る素晴らしい作品をお待ちしています。

主催：都市・まちづくりコンクール実行委員会／株式会社総合資格

協賛：日刊建設工業新聞社／日刊建設通信新聞社 (五十音順)

後援：日本都市計画学会／日本建築家協会／都市環境デザイン会議 (順不同)

本審査の視聴はコチラ
(Zoom ウェビナー)

■応募作品について

応募対象は学生による個人、グループの作品とし、グループの場合は1名の代表者を選出すること。(重複参加不可) 応募者は建築・都市計画系の学校に在籍する学生とし、社会人の参加は不可とする。また、卒業制作と兼ねてもよい。代表者は、審査・講評に参加できる者とする。応募締切までに、コンクールWEB申込フォーム(<http://www.toshi-machi.jp>)上にて応募すること。なお、応募多数の場合、本審査への出展を選抜するための事前審査を行なう。その他詳細は、応募要項をご確認ください。